

## 【小樽地方納税貯蓄組合連合会会長賞】

### 私たちが決める税金の使い道

小樽市立望洋台中学校 二年

高橋 幸歩

私たち中学生には、一人あたり年間百万円以上の税金が使われています。

私が初めてこのことを知った時、百万円というお金の価値がよく分かりませんでした。私の大好きなデイズニールランド入場券だと、約百五十枚分、アイスのガリガリ君だと約一万七千個分、一〇円ガムだと十万個分にもなります。

この税金がどこから来ているかというと、その六割以上が租税及び印紙収入でまかなわれています。その中で一番多いのが、消費税です。昨年の十月に消費税が八%から一〇%に引き上げられました。その時、そのことについて文句を言う人がたくさんいました。確かに、二分分今までよりも多く払うことになると、高額な物になればなるほど値段が高くなってしまいます。

しかし、そのお金が無駄に使われているわけではありません。生活のためにはならない道路の整備や、医療費の補助、私達の教育費など様々なことに使われているのです。

時々、「消費税や税金がなくなればいい。」なんていう声が聞かれます。そんなことになったら、私たち中学生の学費として年に約百万円かかり、学校に行けなくなる人が出てきてしまったり、道路では、人や車が通るたびにお金がかかったりしてしまうかもしれません。医療については、医療費が高すぎて病院に行けなくなったりする人もたくさん出てきてしまうでしょう。

よって私は、消費税ましてや、税金はなくなつてはいけないと思います。

今、新型コロナウイルス感染症が流行していて、税金の使い道について問題視する声がよく聞かれます。特に、アベノマスクについては、「税金の無駄だ」などの意見がよくありました。私も、アベノマスクに税金を使うくらいなら、他の事に使うことはできないのかと思っていました。

ですが、それらの税金の使い道を決めているのは、私たち国民が選挙によって選んだ人達です。「総理大臣は、国会議員の中から議員が選んでいるから国民が選んでいるわけではない。」と思う人もいるかもしれませんが、それは違います。総理大臣を選出している国会議員を選んでるのは私たちです。

つまり、私たちが払っている税金の使い道を決めているのは、私たち国民なのです。

昨年の参議院選挙の投票率は、四八・八%と過半数を下回りました。昨年の選挙の予算は約五七一億円。一票にかかるコストは五三六円になります。したがって、単純に考えると、二九〇億円以上の税金を無駄にしていることになりました。

だから、選挙権を持っている人は選挙に行くこと。そして、税金のことなどよく考えて投票することが大切です。これらの事は、私たち

の生活に大きく関わっています。この問題を他人事と考えず、よく考え、生活をしていきたいと思えます。